



vol.10

このコーナーは、小田川市長が掲げる今年の漢字「越」にちなんだまちづくりを紹介するコラムです。



SDGs
-Sustainable Development Goals-

11 住み続けられるまちづくりを



きらくやまプロジェクト、始動！

問 伊奈庁舎社会福祉課（内線4100）

きらくやまを、世代を超えて交流できる拠点へ

平成6年にオープンした「きらくやまふれあいの丘」。子どもからお年寄りまでが集う「多世代交流の場」として、オープン当時は賑わいを見せていました。老朽化した入浴施設が改修されたことや、天然芝でグラウンドゴルフが楽しめることにより、ご高齢の方々に喜ばれている一方で、遊具の減少に伴い、きらくやまふれあいの丘を訪れる親子連れは減少しています。

「きらくやまふれあいの丘に、かつての活気と賑わいを取り戻し、子どもからお年寄りまで世代を超えて交流できる拠点として再生させる」。そんな思いから、この「きらくやまプロジェクト」を始動しました。



※画像はイメージです

大型遊具を来年の春に設置！

令和2年12月から、市役所内でプロジェクトチームを立ち上げ、議論を重ねてきました。その結果、まずは子育て世代をターゲットにした取り組みを行うことにしました。

そして今年度から、先行事業として遊具設置による子育て世代の呼び込みに取り組みます。来年の春に、市内でも有数の大型遊具を設置し、すべての子どもが安全に遊び、明るい笑い声が響く広場となることを目指します。

きらくやまは、これからも進化を続けます！

きらくやまプロジェクトは、遊具の設置だけにとどまりません。この先も、Wi-Fi環境や水辺で遊べるエリアの整備、その他さまざまな施設や企画を、プロジェクトチームで検討していきます。

「市民にとって何が一番喜ばれるか」。この思いを込めて、これからも「きらくやまふれあいの丘」は進化を続けます！

